コンタクトレンズは高度管理医療機器です。
必ず眼科医の検査・処方を受けてお求めください。

コンタクトレンズは、デリケートな瞳に直接のせて使用するものです。
瞳の安全を守るためにも、コンタクトレンズの取扱いには十分注意してください。

■装用スケジュール

装用可能な時間には個人差があります。必ず眼科医の指示に従ってください。

標準的な装用スケジュール

- 寝る前には必ずレンズをはずしてください。

〈装用を一度中止した場合〉

- 1週間未満で中止した場合は初日から終日装用が可能です。
- 1週間以上中止した場合は、必ず再検査を受けてから装用を再開してください。

■定期検査

コンタクトレンズを安全かつ快適に装用していただくために、眼科医から指示された定期検査を必ず受けてください。

- 調子がよくてもコンタクトレンズにキズがついていたり、眼に障害を起こしていることがあります。定期検査を必ず受けましょう。
- 眼やコンタクトレンズに少しでも異常を感じた場合には、ただちにコンタクトレンズをはずし、定期検査のスケジュールにかかわらず、眼科医の診察を受けてください。

標準的な定期検査スケジュール

装用開始 → 装用1週間後 → 装用1ヶ月後 → 以後3ヶ月ごと

■その他の注意

- コンタクトレンズは、眼の状態や環境の変化などにより、装用できない場合があります。そのような場合に備え、常に眼にあった眼鏡を用意してください。
- レンズは、直射日光を避け、室温で保管してください。また、小児の手の届かないところに保管してください。
- レンズになれるまでは、車の運転や機械操作などは行わないでください。
- 車の運転や機械操作中に、レンズがズレたり、はずれたり、あるいは急に見えにくくなったときは、周囲の安全を確認した後、運転・操作を中止してください。
- 水泳のときはレンズをはずしてください。
- 海外でレンズを使用する場合には、スペアレンズを日本から持参してください。また、眼鏡も必ず持参するようにしてください。

選任製造販売業者：アイミー株式会社
神奈川県横浜市港北区新横浜一丁目７番地９
外国特例承認取得者及び外国製造業者：Pegavision Corporation 台湾
お問い合わせ先：アイミー株式会社　アイミーコール（お客様相談室）
0120-131-469
受付時間／9：00～17：00（土日祝日を除く）
アイミーホームページ　http://www.aime.jp

AM15-07004

Aime

終日装用

1日交換ソフトコンタクトレンズ

AQUAFORCE UV

アクアフォースUV

販売名：ペガビジョン 1DAY
医療機器承認番号：22700BZI00009000

取 扱 説 明 書

ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

特にご注意していただきたいこと。

- **コンタクトレンズご使用の前には、必ず添付文書をよく読み、表現や内容でわからないところがあれば必ず眼科医に相談し、よく確認してからご使用ください。**
- **添付文書は大切に保管してください。**

  コンタクトレンズは眼に直接のせて使用するものです。コンタクトレンズの取扱方法を誤ると、角膜潰瘍などの重い眼障害につながることがあります。また、治療せずにそれを放置すると失明してしまうこともあります。コンタクトレンズを安全に装用するために、必ず添付文書をよく読み、眼科医の指示に従い正しい取扱方法を守ってください。

- **このコンタクトレンズは、1日で交換するコンタクトレンズです。一度、目から外したら絶対に再使用しないでください。**

【1】装用時間を正しく守ること

装用時間は個人差があります。眼科医から指示された時間内で使用し眠るときは必ずはずしてください。

【2】取扱方法を守り、正しく使用すること

コンタクトレンズの取扱方法を誤ると眼障害につながります。コンタクトレンズは常に清潔に保ち、正しい取扱方法を守ってください。

【3】定期検査は必ず受けること

自覚症状がなく調子よく装用していても眼やコンタクトレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくとも眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

【4】少しでも異常を感じたら、直ちに眼科医の検査を受けること

コンタクトレンズをつける前に、毎日、ご自分で目ヤニや充血がないか、またコンタクトレンズをつけた後も、異物感などがないか確認し、少しでもこれらの異常を感じたら、すぐに眼科医の検査を受けてください。

はじめに

このたびは「アクアフォースUV」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。「アクアフォースUV」は、1日交換ソフトコンタクトレンズです。ご使用の前に取扱説明書を必ずお読みになり、内容を十分ご理解のうえ、正しい取扱いを守ってご使用ください。

●この取扱説明書を紛失された場合は、コンタクトレンズ購入先で手に入れてください。購入先にない場合は弊社までお問い合わせください。

■コンタクトレンズ装用に適していない例

コンタクトレンズを使用できない、あるいは使用しない方がよい病気や環境があります。装用を開始する前に必ず眼科医の診察を受け、これらの病気の有無や環境について確認してください。なお、医師の指示や添付文書の指示を守ることができない方もコンタクトレンズの装用に適していません。

《医学的禁忌例》
◎前眼部の急性および亜急性炎症・眼感染症・ぶどう膜炎・角膜知覚低下
◎眼瞼異常・コンタクトレンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患・その他医師が装用不適と判断した疾患

《社会的禁忌例》
◎医師の指示に従うことのできない場合　◎コンタクトレンズを適切に使用できない場合　◎定期検査を受けられない場合
◎コンタクトレンズ装用に必要な衛生管理を行えない場合　◎極度に神経質な場合

《生活環境的禁忌例》
◎常時、乾燥した生活環境にいる場合　◎粉塵、薬品などが眼に入りやすい生活環境にいる場合

■レンズをつける前に

●装用前に、眼やレンズを傷つけないように、爪を短く切り、先端を丸くなめらかに保つようにしてください。

●レンズに触れる前に必ず石けんで手や指を十分に洗い、石けんが残らないようによくすすいでください。

■レンズの取り出し方

1）容器をひとつひとつ切り離してください。

2）容器を軽く振り、レンズが液体の中に入っているか確かめてください。

3）容器とアルミシールをしっかり持ち、中の液体が飛び散らないようにゆっくりはがします。容器を切り離す際やアルミシールをはがす際に、アルミシールや容器のふちで手を切らないように注意してください。
※中の液体が飛び出すことがありますので、ご注意ください。

4）容器の中に人さし指を入れ、指の腹で容器のカーブに沿うようにしてそっとレンズをすくい上げます。このとき、爪でレンズにキズをつけたり破損しないように注意してください。

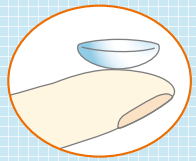
■レンズチェック

1）レンズを取り出し、レンズに変形・変色、異常・汚れの付着、キズ・破損などの異常がないことを確認してください。これらの異常のあるレンズを装用すると、装用中に痛みや刺激を感じたり、眼を傷つけることがありますので、使用しないでください。

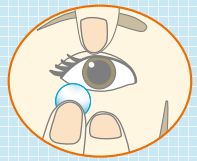
2）レンズの左右を確認してください。レンズの左右を入れ間違えると、見えにくい、眼がつかれるなどの症状の原因になります。

3）指にレンズをのせて横から見て裏表を確認してください。レンズのはじが、おわんのように丸くなっていれば表、反り返っていれば裏です。

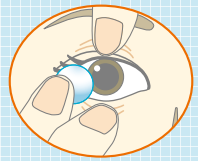
■コンタクトレンズのつけ方



❶きき手の人差し指の先にコンタクトレンズをのせます。



❷きき手の中指で下まぶたを引き下げます。反対の手の人差し指または中指で上まぶたを引き上げ、眼を大きく開きます。



❸コンタクトレンズをゆっくりと眼に近づけ黒目の上にそっとのせます。（このときコンタクトレンズを眼に強く押し付けないように注意してください。）

❹コンタクトレンズが黒目に正しくのっていることを確認してから、上まぶた、下まぶたを押さえていた指をゆっくりとはなします。

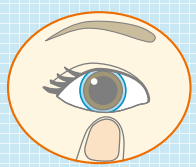
❺眼をゆっくりと閉じ、その後まばたきを2～3回くり返します。コンタクトレンズが正しく入っていることを確認します。

❻片眼ずつ交互に手のひらで眼をかくし、遠くや近くが良く見えるかを確認します。

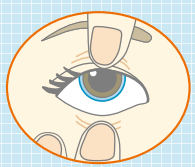
アドバイス

●手や指がぬれているとコンタクトレンズが指にくっついてしまい、うまく入りません。手指の水分はタオルでよくふき取ってください。
●まぶたを引き上げたり引き下げたりする時は、まつ毛の生え際を押さえると大きくスムーズに眼を開けることができます。
●化粧をする場合は、コンタクトレンズを装用した後に行ってください。

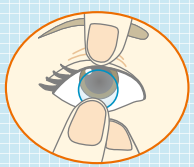
■コンタクトレンズのはずし方



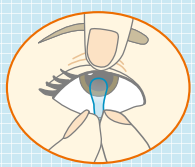
❶鏡をよく見てコンタクトレンズの位置を確認します。



❷きき手の中指で下まぶたを引き下げます。反対の手の人差し指または中指で上まぶたを引き上げます。



❸そのままの状態できき手の人差し指でコンタクトレンズを黒目から下の白目へずらします。



❹コンタクトレンズを下の白目へずらしたまま、人差し指と親指で軽くつまんで取り出します。

アドバイス

●コンタクトレンズが乾燥しはずれにくいときは、まばたきを繰り返して涙を多く出すか、人工涙液・ソフトレンズ用点眼薬などを点眼し、コンタクトレンズが動くのを確認してからはずしてください。
●コンタクトレンズをはずすときは、必ず黒目より下の位置で取り出してください。
●眼を傷つけたりしないために、爪を立てたり指が直接眼に触れないように注意してください。
●化粧を落とす場合は、コンタクトレンズをはずした後に行ってください。

※この「はずし方」はソフトレンズの方法です。ハードレンズでは決して行わないでください。